

令和7年度第3回狭山市社会福祉審議会会議録

開催日時 令和7年10月9日(木)
午前10時00分から午前11時45分まで

開催場所 市役所7階 職員研修室

出席者 10名
畑中委員 成田委員 山崎委員 小田委員 中澤委員
宮本委員(会長) 影山委員 諏訪委員(副会長) 成瀬委員 小野委員

欠席者 井島委員、田中委員、寶積委員

市出席者 5名
昔農福祉部長、浅野福祉部次長(福祉政策課長兼務)、栗原福祉政策課
トータルサポート室長、小林福祉政策課総務・政策担当主幹、小池福祉
政策課同担当主査

市以外出席者 狭山市社会福祉協議会職員2名、委託業者担当者1名

傍聴者 なし

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 報告事項

(1) ワークショップの報告

福祉政策課総務・政策担当主幹より説明

〈質疑応答〉

委員 28人参加されて盛況だったと感じる。どのような構成だったか。

所管主幹 地域福祉活動推進会議という市民活動とかを中心にやってらっしゃる方たちと、あとは生活支援体制整備事業の第1層協議会の委員を中心に、あとは市民公募の方が5、6人。年齢層は比較的高く、現役世代は市と社協、包括の職員、若者支援をしている団体の職員、社協に実習にきていた大学生。

会長 このワークショップには、審議会の委員も参加されていた。その報告を受けて補足する意見はあるか。

委員 他のグループを見ると、すごく活発で盛り上がっていて和気あいあいとやっていたと感じるような発表がたくさんあった。

委員 今回活動計画を作る立場と、行政の計画を作る立場が共催で行った。この議論の多くが活動計画にも反映されていくということと、市民目線で見た外国人の問題、不登校の方の問題とかいろいろな課題が出てきた。

前回、別々で作成した時には共同で行う場がなかったが、今回一緒にできたということは策定の仕方の方としてよい一歩を踏み出したのか

など感じがする。

4 審議、意見、調整事項

(1) 専門部会からの報告

福祉政策課総務・政策担当主幹より説明

〈質疑応答〉 なし

(2) 第5期狭山市地域福祉計画骨子案の変更について

福祉政策課長より説明

〈質疑応答〉

委員 成年後見制度利用促進計画は基本目標1ではなくということか。

所管課長 専門部会で意見をいただいているところではあるが、基本目標1に寄せた方がやっぱりいいということであれば対応したいと思うが、専門部会で検討していきたい。

(3) 第5期狭山市地域福祉計画（素案）の中間報告について

福祉政策課長より説明

会長 成年後見制度利用促進計画と重層支援は作りこみ方が少し違うような気がするが、先ほどの話だと施策4と連動してということだったと思うがこれはあえてこのような形にしたのか。

所管課長 中間報告ではこの形にしたが、他の施策と違和感なく見れた方がいいと思っている。ただ、新しい計画になるので少しボリュームを持たせながら厚くしたいという思いから展開を考えているところである。

委員 見開きにしたいということだが、見開きにうまく収まるか。見開き縛りにすると作業ができないのではないか。主な取り組みが今までの延長なのか新しいものが入っているとかそのあたりがわかった方がいいと思うので長くなってしまったらしょうがないので柔軟に対応していただければいいと思う。

所管課長 施策のスタートは見開きでになるように、コラムなどで調整する方法もあるかと思うので内容を損なわないようにこだわりすぎないように進めていく。

会議資料4 スケジュール

政策福祉課長より説明

会長 政策調整会議や政策会議の日程はもう決まっているのか。

所管課長 政策調整会議や政策会議の日程は後ろにずらすことを考えている。こういうスケジュールで策定できればというスケジュールで進めてきた。当然議論が必要ということになれば遅れるが、今年度の策定を目指してるといったところでは、スケジュールは整えられると考えている。

〈終了〉